

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

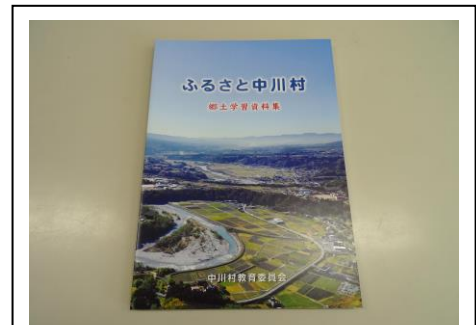
事業名	郷土学習資料集作成事業
事業主体 (連絡先)	中川村 上伊那郡中川村大草 4045-1
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,095,700円 (うち支援金: 819,000円)

### 事業内容

子どもたちが、ふるさとである中川村の実態や歴史、文化等について知ることができるような郷土学習資料集を作成した。

12名の編集委員により、計8回の委員会を開催し、項目の選択や構成、執筆内容等について話し合いを重ねた。地域素材を選定し、子どもたちの学習の手助けになるよう誌面に活かした。

資料集は500冊印刷し、村内2つの小学校の3年生以上の児童に配り、授業等で活用してもらう。



【ふるさと中川村 郷土学習資料集】

### 【目標・ねらい】

①子どもたちに中川村を知ってもらうことで、ふるさとを愛する心を育てたい。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

支援金の活用により、今後子どもたちのふるさとの学びの手助けとなる郷土学習資料集を作成することができた。

### 事業効果

子どもたちが資料集を使って学習し、また家族もこれを読むことを通して、ふるさとを愛する気持ちを高めることができます。そして、これから地域を離れて学び働いていく子どもたちも、ふるさとを愛し、やがて戻ってきてくれることが期待されます。

### 今後の取り組み

資料集は、今後も3年生になった児童に配り、授業等で活かしてもらう。誌面にある地域素材については、実際に見学したり、地域の方の声を直接聞いたりすることに繋げ、より子どもたちの学習が進むようにしていきたい。

資料集をとおり、学級で学習したことはまとめて、地域の人々との関わりのある学習は信州型コミュニティースクールの実践として、また地域の産業についての学習はキャリア教育の一環として、キャリア教育の推進にも活かす。学習のまとめは、各校の学習発表会で保護者や地域の人々にも伝え、学び合う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある